

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度						
		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収	1. 医業収益 a	777	774	735	745	756	766	777
	(1) 料金収入	577	570	528	539	550	561	572
	(2) その他	200	204	207	206	206	205	205
	うち他会計負担金	166	169	170	169	168	167	167
	2. 医業外収益	309	314	314	312	310	309	308
	(1) 他会計負担金・補助金	270	268	265	263	262	261	260
	(2) 国(県)補助金	2	2	2	3	3	3	3
	(3) 長期前受金戻入	16	20	25	24	24	24	24
	(4) その他	21	24	22	22	21	21	21
	経常収益(A)	1,086	1,088	1,049	1,057	1,066	1,075	1,085
入	1. 医業費用 b	1,120	1,168	1,145	1,084	1,073	1,065	1,049
	(1) 職員給与費 c	704	747	723	720	717	714	712
	(2) 材料費	106	103	96	96	95	95	95
	(3) 経費	169	176	178	179	179	179	179
	(4) 減価償却費	138	135	140	81	74	70	56
	(5) その他	3	7	8	8	8	7	7
	2. 医業外費用	40	35	32	32	31	31	31
	(1) 支払利息	14	14	13	13	13	13	13
	(2) その他	26	21	19	19	18	18	18
	経常費用(B)	1,160	1,203	1,177	1,116	1,104	1,096	1,080
経常損益(A)-(B)(C)	▲74	▲115	▲128	▲59	▲38	▲21	5	
特別損益	1. 特別利益(D)							
	2. 特別損失(E)	31	2	0	1	0	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)	▲31	▲2	0	▲1	0	0	0
純損益(C)+(F)	▲105	▲117	▲128	▲60	▲38	▲21	5	
累積欠損金(G)	1,913	2,030	2,158	2,218	2,256	2,277	2,272	
不良債務	流動資産(ア)	400	382	325	348	345	351	347
	流動負債(イ)	185	157	165	151	147	142	137
	うち一時借入金							
	翌年度繰越財源(ウ)							
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)							
差引不良債務(オ) {(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	▲215	▲225	▲160	▲197	▲198	▲209	▲210	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	93.6	90.4	89.1	94.7	96.6	98.1	100.5	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲27.7	▲29.1	▲21.8	▲26.4	▲26.2	▲27.3	▲27.0	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	69.4	66.3	64.2	68.7	70.5	71.9	74.1	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	90.6	96.5	98.4	96.6	94.8	93.2	91.6	
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額(H)	▲215	▲225	▲160	▲197	▲198	▲209	▲210	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲27.7	▲29.1	▲21.8	▲26.4	▲26.2	▲27.3	▲27.0	
病床利用率	64.9	63.8	56.6	57.7	58.9	59.9	61.3	

団体名 (病院名)	足寄町国民健康保険病院
--------------	-------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度						
		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	56	1	16	13	17	13	24
	2. 他会計出資金	40	40	59	59	58	50	59
	3. 他会計負担金							
	4. 他会計借入金							
	5. 他会計補助金							
	6. 国(県)補助金	15	44	3	2	4	4	7
	7. その他							
	収入計(a)	111	85	78	74	79	67	90
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)							
	前年度許可債で当年度借入分(c)							
純計(a)-[(b)+(c)](A)	111	85	78	74	79	67	90	
支 出	1. 建設改良費	114	9	39	35	38	29	54
	2. 企業債償還金	62	60	68	69	65	60	55
	3. 他会計長期借入金返還金							
	4. その他							
	支出計(B)	176	69	107	104	103	89	109
差引不足額(B)-(A)(C)	65	▲16	29	30	24	22	19	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	65	▲16	29	30	24	22	19
	2. 利益剰余金処分量							
	3. 繰越工事資金							
	4. その他							
計(D)	65	▲16	29	30	24	22	19	
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)								
実質財源不足額(E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	436	437	435	432	430	428	427
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	0	0	0	0	0	0	0
合計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	436	437	435	432	430	428	427

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。